

FACSIMILE EQUIPMENT

Patent Number: JP2000132468

Publication date: 2000-05-12

Inventor(s): IKEGUCHI KEITOKU; HIROKI SHINYA

Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

Requested Patent: ☐ JP2000132468

Application Number: JP19980306598 19981028

Priority Number(s):

IPC Classification: G06F13/00; G04G15/00; H04L12/54; H04L12/58; H04M11/00; H04N1/00; H04N1/32

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically call an electronic mail server via a simple setting operation, to check the number of unreceived mails and to receive the unreceived mails by providing a function to call the electronic mail server at a prescribed interval or time and to ask the electronic mail server to send the information on the number of unreceived mails.

SOLUTION: An interval check program is started by a program that is previously set, and the timer numeric value is checked (601). When the coincidence of the timer numeric value is confirmed in the step 601, an electronic mail server is called for its automatic connection (602). Then the caller is checked to be authenticated (603). If the authentication of the caller is OK, the mail server is asked to send the information of the number unreceived mails for checking the number of unreceived mails (604). If the authentication of the caller is NG, an error processing is carried out (610). Then the number of unreceived mails is shown on a display part to notify the user of it (606). When the number of unreceived mails is not zero, the unreceived mails are arranged actually to receive. (607).

Data supplied from the esp@cenet database - I2

Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-132468

(P2000-132468A)

(43) 公開日 平成12年5月12日 (2000.5.12)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 2 F 0 0 2
G 0 4 G 15/00		G 0 4 G 15/00	K 5 B 0 8 9
H 0 4 L 12/54		H 0 4 M 11/00	3 0 3 5 C 0 6 2
12/58		H 0 4 N 1/00	1 0 4 B 5 C 0 7 5
H 0 4 M 11/00	3 0 3		1 0 7 Z 5 K 0 3 0

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-306598

(22) 出願日 平成10年10月28日 (1998.10.28)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 池口 佳徳

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 広木 晋也

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

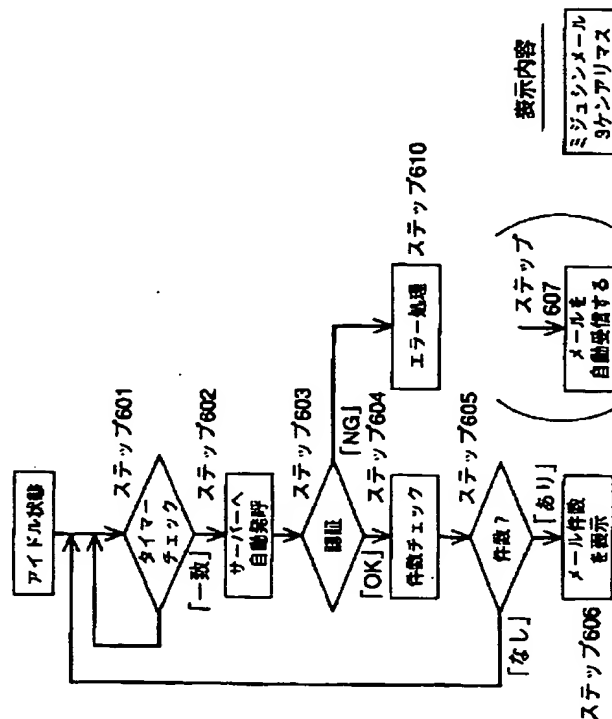
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、Eメールサーバに受信されたEメールは、端末からサーバに電話をかけて受信するのが一般的であるが、その都度操作をする必要があり面倒である。

【解決手段】 自動発呼するための間隔もしくは時刻を設定し、設定された間隔に基づいて定期的にEメールサーバ200に自動的に接続し、未受信メールの件数情報を送るよう依頼し、その結果を表示し、未受信メールを受信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、あらかじめ設定された間隔もしくは設定された時刻にEメールサーバに発呼し、Eメールサーバに対して未受信メールの件数情報を送るよう依頼する機能を設けた事の特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 チェックした件数がゼロ以外の時に自動的に未受信Eメールを受信する機能を有する事を特徴とする請求項1記載のファクシミリ装置。

【請求項3】 データ等を蓄積するための記憶手段と、各種操作に使用する入力装置と、電話回線に接続するための回線制御部と、時間をチェックするときに使用する時計と、表示装置とを備え、

常時計をチェックし、設定された時間毎にEメールサーバに自動的に接続に行くための発呼を行い、発呼者の認証がとれた場合にはEメールサーバに対して未受信メールの件数情報を送るよう依頼し、未受信メールの件数を表示装置に表示させるよう制御する制御手段を備えたファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はEメールの機能を有するファクシミリ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 Eメール機能の利便性が評価され、Eメール機能を使用する企業が増えてきている。使用に関して一般的にはパソコンが使用されており、使用するためのプロバイダの設定、DNSの設定、IPアドレスの設定等専門知識が必要であり、パソコンに詳しくない一般ユーザーがEメール機能を利用するのは非常に困難である。また、公衆回線に接続されたファクシミリ装置においてEメール機能を利用することは出来ない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、パソコンに詳しくない一般ユーザーでも簡単にEメール機能が利用できるファクシミリ装置を提供することにある。Eメール機能を利用するには一般的にEメールサーバへの接続、認証作業が必要であり、送信する場合は送信相手のEメールアドレスの入力が必要である。またEメールを受信する場合にも接続、認証作業が必要である。特に、Eメールサーバに受信されたEメールは、端末からサーバに電話をかけて受信するのが一般的であるが、その都度操作をする必要があり面倒である。

【0004】 本発明は、簡単に設定によりEメールサーバに受信されたEメールを取り出すことができるようにしたファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために本発明は、あらかじめ設定された間隔、もしくは設定

された時刻にEメールサーバに自動的に電話をかけ未受信メールの件数をチェックする機能を有したファクシミリ装置である。またチェックした結果未受信メールがある場合自動的に受信する機能を有したファクシミリ装置である。

【0006】

【発明の実施の形態】 本発明の請求項1の発明は、インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、あらかじめ設定された間隔もしくは設定された時刻にEメールサーバに発呼する機能を設けた事により、設定された時間を元に自動的にEメールサーバに発呼し、Eメールサーバにて受信されている自分宛のEメールの件数をチェックすることが可能になる。

【0007】 (実施の形態1) 図1において101はファクスを制御するためのCPU、102はプログラムが格納されているROM、103はデータ等を蓄積するためのRAMである。104はEメールアドレスの入力、及び各種操作に使用する入力装置である。105は電話回線に接続するための回線制御部である。106は時間、間隔をチェックするときに使用する時計である。107は未受信メールの件数を表示するための表示装置である。200はEメールサーバである。Eメールサーバ200は公衆回線110で接続されている。

【0008】 例えば、ある一定間隔でサーバに接続するように設定するときのフローチャートを図2に、設定された時刻に未受信メールをチェックするときのフローチャートを図3示す。

【0009】 以下図2に自動取り出し設定のフローチャートに沿って説明する。まず使用者は、自動取りだし設定をするために入力装置104の中の「Eメール」ボタンを押す(ステップ500)。次に使用者は入力装置104にて自動取り出しの設定項目を選択する(ステップ501)。自動取り出しを設定する場合には表示装置107に「ジドウトリダシ=ON」と表示させ、設定しない場合には「ジドウトリダシ=OFF」と表示させた状態で次のステップに移る。ここでは、自動取り出しを設定するので、「ON」と表示させる。

【0010】 次に自動取り出しの間隔を入力する(ステップ502)。例えば使用者が「24」と入力すると、表示装置107に「カンカク= 24 ジカンカンカク」と表示される。これら設定を有効にするために、使用者は入力装置104の中の「登録」ボタンを押す(ステップ503)。ステップ504で間隔をチェックするためのプログラムを実行させる。

【0011】 ステップ504で実行したプログラムにより、図3のフローチャートに示す間隔チェックプログラムが起動する。図3において、601にてタイマー値をチェックする。ステップ601でタイマー値が一致した場合、ステップ602でサーバに自動的に接続に行くた

めの発呼をおこなう。ステップ603で発呼者の認証を行い、認証「OK」ならばステップ604にてEメールサーバに対して未受信メールの件数情報を送るように依頼し、未受信メールの件数をチェックする。認証「NG」の場合はステップ610でエラー処理をする。

【0012】ステップ606にて未受信メールの件数を表示部に表示しユーザーに知らせる。

【0013】また未受信メールの件数がゼロ以外の場合は、ステップ607にて実際に未受信メールを受信する。

【0014】以上実施の形態を示したが、間隔の設定方法、またタイマーのチェック方法は問わない。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、ユーザーがその都度面倒な操作をすることなく、設定された時間を元に自動的にEメールサーバに発呼に行き件数チェック及び未受信メールを受信することができるファクシミリ装置が提供できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態におけるファクシミリ装置を用いたシステム構成図

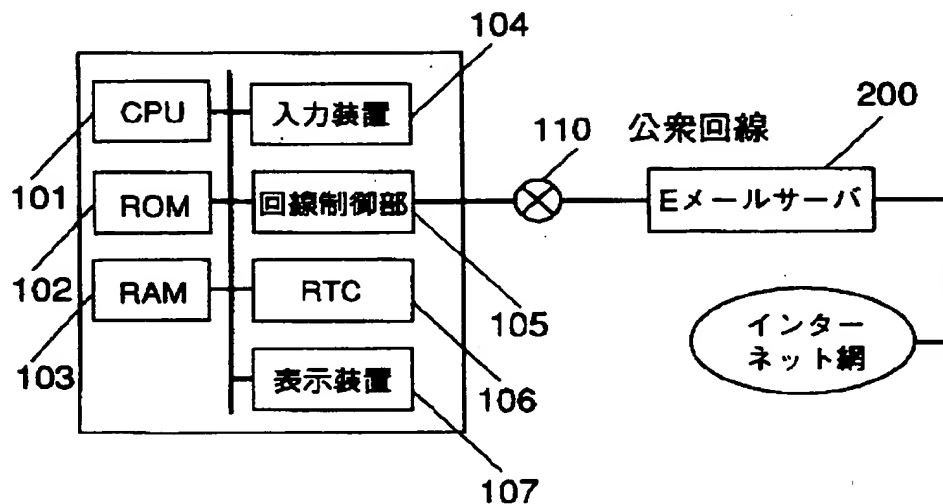
【図2】同ファクシミリ装置の自動取り出し設定のフローチャート

【図3】同ファクシミリ装置のタイマーチェックのフローチャート及び表示例を示す図

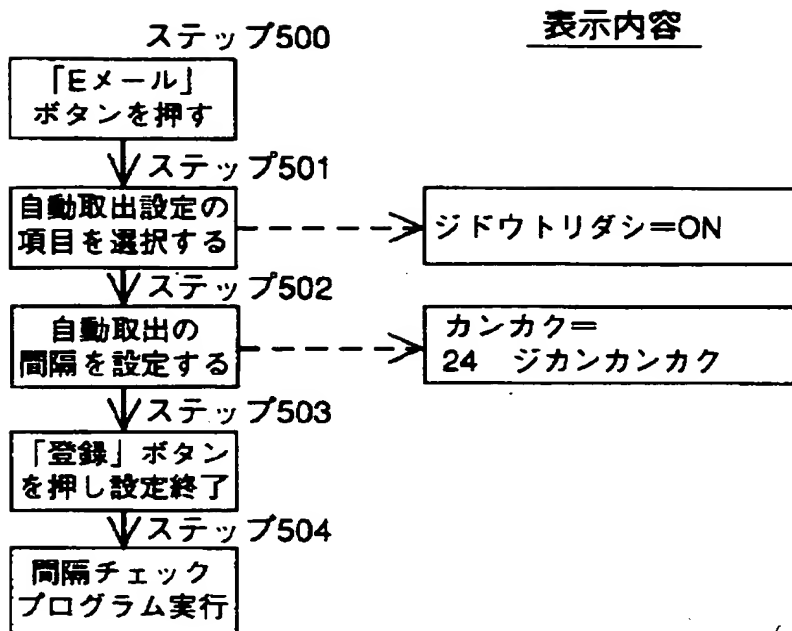
【符号の説明】

- | | |
|-----|----------|
| 101 | CPU |
| 102 | ROM |
| 103 | RAM |
| 104 | 入力装置 |
| 105 | 回線制御部 |
| 106 | RTC (時計) |
| 107 | 表示装置 |
| 110 | 公衆回線 |
| 200 | Eメールサーバ |

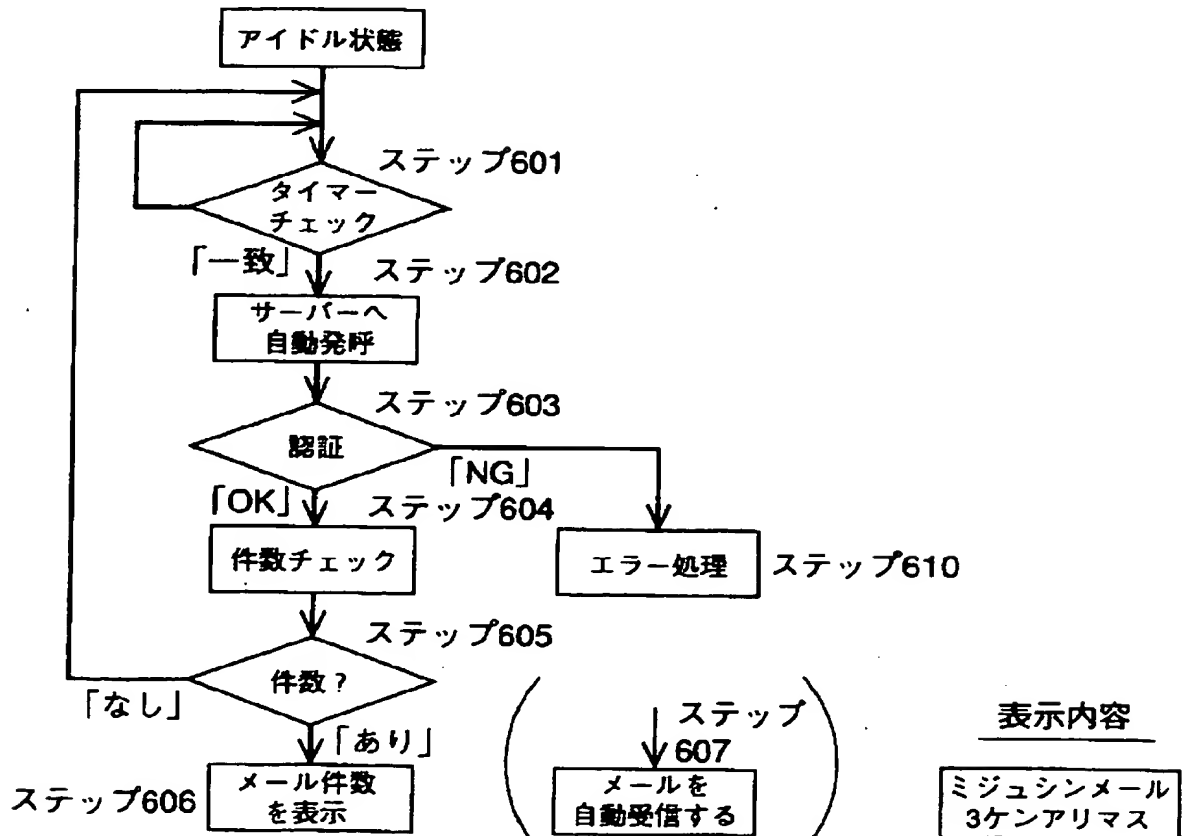
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード(参考)
H04N 1/00	104	H04N 1/32	L 5K101
	107	H04L 11/20	101B
1/32			

Fターム(参考) 2F002 AA05 BA04 BD04 FA32 GA06
 GC04 GC07 GC22
 5B089 GA15 GA21 GB02 GB04 HA01
 JA05 JA31 KA01 KA04 KC30
 LA13 LB04 LB14
 5C062 AA02 AA29 AB38 AC35 AC36
 AC41 AC42 AE14 AF00 BA00
 BD09
 5C075 AB90 BB11 CD21
 5K030 GA15 HA05 HC02 JT05 KA01
 KA06 KA21 LB02 LD14 LD18
 5K101 KK01 KK02 RR13